

県立中学校の調査結果

高校教育課

- 1 教科に関する調査の結果
 - (1) 教科に関する調査の結果概要
 - (2) 教科に関する調査の成果と課題
- 2 質問紙調査の結果
 - (1) 生徒に対する調査の主な結果
 - (2) 学校に対する調査の主な結果
 - (3) 質問紙調査に関する成果と課題
- 3 今後の重点取組

1－(1) 教科に関する調査の結果

県立中学校の概要

- ・ **国語・数学・理科のすべての教科において、全国平均、県平均を上回っている。**

	【中学校3年生】		
	国語	数学	理科
県立中	83%	73%	64%
県	68%	49%	49%
全国	69.0%	51.4%	49.3%

※表中の数値は平均正答率（%）、県の値は国から整数値で公表

1－(2) 教科に関する調査の成果と課題（中学校）

成果

国語 成果が見られた内容

- 表現の技法について理解する【関連問題 3－】
- 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す【関連問題 1三】

数学 成果が見られた内容

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる【関連問題 6(2)】
- 自然数を素数の積で表すことができる【関連問題 1】

理科 成果が見られた内容

- 考察の妥当性を高めるために、測定値の増やし方について、測定する範囲と刻み幅の視点から実験の計画を検討して改善できるかどうかをみる【関連問題 5(3)】
- 予想や仮説と異なる結果が出る場合について、結果の意味を考え、観察、実験の操作や条件の制御などの探究の方法について検討し、探究の過程の見通しをもつことができるかどうかをみる【関連問題 8(2)】

課題

※赤色のアンダーライン（依然として課題である問題）

国語 課題が見られた内容

- 行書の特徴を理解する【関連問題 4－】
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く【関連問題 2三】

数学 課題が見られた内容

- 筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる【関連問題 9(2)】
- データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる【関連問題 7(1)】

理科 課題が見られた内容

- 力の働きに関する知識及び技能を活用して、物体に働く重力とつり合う力を矢印で表し、その力を説明できるかどうかをみる【関連問題 5(1)】
- 化学変化に関する知識及び技能と「エネルギー」を柱とする領域の知識及び技能を関連付け、水素を燃料として使うしくみの例の全体を働かせるおもとして必要なものを分析して解釈できるかどうかをみる【関連問題 3(3)】

2 - (1) 生徒に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。（最下部除く）

単位(%)

	質 問 項 目	中学校		
		県立	県	全国
等 基 本 的 生 活 習 慣	朝食を毎日食べていますか	93.4	92.8	91.9
	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	83.7	93.4	92.2
	普段（月曜日から金曜日）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含まれます。）をしますか（「4時間以上」+「3時間以上、4時間より少ない」の割合）	15.9	24.6	29.8
自 己 有 用 感 等 規 範 意 識 、 挑 戦 心 、 達 成 感	自分には、よいところがあると思いますか	74.9	77.5	78.5
	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	86.3	88.4	86.6
	将来の夢や目標をもっていますか	68.7	67.7	67.3
	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.2	97.1	96.4
	学校に行くのは楽しいと思いますか	87.7	86.0	82.9
学 習 習 慣 等	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含みます。）	55.1	54.7	58.5
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含まれます。）（「1時間以上」の割合）	59.5	66.1	69.5
	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます。）（「10分以上の割合）	53.7	42.6	48.6
	家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか（「そのままにしている」の割合）	9.3	15.5	11.6

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 - (1) 生徒に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	中 学 校		
		県立	県	全国
地 社 会 や	今住んでいる地域の行事に参加していますか	42.7	40.7	40.0
	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	48.5	42.5	40.7
活 用 I C T 機 器 の	学校で、授業中に自分で調べる場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか（インターネット検索など）（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	48.5	44.1	37.2
	学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を、どの程度使っていますか（「ほぼ毎日」+「週3回以上」の割合）	22.5	25.4	17.8
	学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	96.5	94.4	92.6
な 視 主 学 点 体 習 の 的 時 間 の 対 授 業 話 改 善 的 深 い 総 学 合 的 的 の	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	63.0	54.3	63.3
	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	80.6	73.0	79.2
	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりすることができていますか	86.3	76.9	78.7
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	81.5	70.5	74.7
	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいましたか	81.5	71.3	72.1
理 教 解 科 度 の	国語の授業の内容はよく分かりますか	84.6	77.1	81.2
	数学の授業の内容はよく分かりますか	77.1	69.2	76.2
	理科の授業の内容はよく分かりますか	81.9	69.7	75.2

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果①

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	中学校		
		県立	県	全国
指導生徒	調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	100	92.1	95.6
	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	100	99.4	98.1
向上に 関する 状況	校長として、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか	100	70.5	55.7
	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	100	92.7	91.3
	生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	66.7	96.3	93.3
	個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか（オンラインでの参加含む）	100	88.6	73.0
に 関する 取組 状況	調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	100	87.4	87.9
	調査対象学年の生徒は、授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか	100	78.9	80.7
	調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	100	84.3	86.2
	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	100	93.4	88.2
家庭学習	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしましたか	100	95.8	93.6
	調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かしましたか	100	95.2	86.9

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 - (2) 学校に対する調査の主な結果②

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位(%)

	質 問 項 目	中学校		
		県立	県	全国
I C T	調査対象学年の生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索）では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか（「ほぼ毎日」＋「週3回以上」の割合）	66.7	62.1	56.2
	調査対象学年生徒同士がやりとりがやりとりする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますかどの程度行っていますか（「ほぼ毎日」＋「週3回以上」の割合）	66.7	40.9	27.8
小 中 連 携	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	0	65.7	61.1
	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	0	65.1	58.0
の 全 学 調 の 結 果 等	令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	100	98.8	92.7
	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	100	97.0	88.5
症 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染	令和3年度の新型コロナウイルス感染症の影響による、調査対象学年の生徒に対する、夏季等の長期休業期間の延長、臨時休業、短縮授業・分散登校の期間中、家庭での学習としてどのようなものを行っていましたか（「全校で実施」＋「一部の学年・学級で実施」の割合）			
	・教科書による学習（デジタル教科書を含む）	100	53.0	33.6
	・学校が作成したプリントなどによる学習（電子メールや学校のホームページなどを活用して配信する場合を含む）	100	56.6	39.8
	・同時双方向型オンライン指導を通じた学習	100	47.5	24.8

※第3期くまもと「夢への架け橋」教育プラン、「熊本の学び推進プラン」、「『熊本の学び』アクションプロジェクト」に関連する項目の中から抽出

2 – (3) 質問紙調査に関する成果と課題

【生徒に対する調査から】

- (成果) 学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることや総合的な学習の時間において自分で課題を立てて情報を集め整理することや調べたことを発表することなど、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する項目の多くで、県平均・全国平均を上回っている。
- (課題) 他の生徒と意見交換をする場面で、P C・タブレットなどのI C T機器を活用しているかに関する項目で県平均を下回っている。

【学校に対する調査から】

- (成果) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況や家庭学習に関する取組状況などにおいて、充実した取組状況が窺える。
- (課題) 生徒に調べさせたり、生徒とやり取りする場面における、P C・タブレットなどのI C T機器の活用に関する項目において、県平均を下回っている。

3 今後の重点取組

■ 中高一貫教育校としての特長を生かした教育実践の推進

- 高校受験がない利点や中学・高校の連続性を生かし、課題研究や海外研修など各校が特色ある教育活動を行い、探究型学習をさらに進める。その成果を3校合同の発表会（グローバル・デイ）で披露することで、生徒同士が切磋琢磨し、それぞれの学びを深める。
- 教職員の資質向上の一環として、県立中学校3校合同で教科研究協議会を開催し、各校の授業実践の好事例について情報共有を図ることで、県立中学校全体の授業力の向上を図る。
- ICTの活用に関して、「ICT活用実践事例集高等学校編」等の活用事例を参考にして、取組の促進を図る。